

# 令和3年度第1回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

## 1 日 時

令和3年6月2日（水） 午後2時00分から午後2時40分

## 2 場 所

青梅市役所 議会棟3階 第2委員会室

## 3 出席者

[出席委員]

菊池 一夫委員 ※川合 純委員 原島正之委員  
※手塚幸子委員 宇津木順一委員 田邊 晃委員  
※大住修司委員 伊藤武夫委員 細谷秀秋委員  
※印の委員は、リモート出席。

[出席青梅市職員]

浜中市長以下10名

## 4 議事概要

(1) 市長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 今後の青梅市の行財政運営に関する意見交換結果報告書の提出

・令和2年度に開催した2回の委員会において実施した、行財政運営に関する意見交換の結果をまとめた報告書を菊池委員長から浜中市長へ提出。

(4) 青梅市行財政改革推進委員会の取組みについて 【財政課長説明】

・令和元年度～令和2年度における委員会の取組の報告。

(5) その他

ア 今期2年間の取組を振り返っての各委員の主な感想・意見

- ・委員会の中で議論した内容を集約し、その結果について、市政にどう反映できたのかという効果検証が必要である。
- ・一市民の立場、そして自分が関わってきた経験から、発言している。自分達が発言したことがどう活かされているかを分かるようにしてもらいたい。
- ・各委員の積極的な意見、様々な視点からの意見を伺えたので、自分にとってのいい「気づき」となった。
- ・博物館事業、美術館事業に対して実施した外部評価については、数字では計りきれない質的な部分もあり、評価の観点が難しかった。
- ・最近の新型コロナウイルス感染症の対応を見ても、国主導ではなく、都道府県、市町村が主体となったスタイルに変わってきているように感じることから、今まで以上に各自治体の個々の能力、采配が重要となってくると思う。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会の開催回数が少なかったのが残念である。リモート形式を活用し頻度を増やしてもらいたい。
- ・意見交換を通して、「市政」は、本当に幅広いと感じた。税収が落ち込む中で、市民が生活をしやすい環境を整備するのは大変だと思う。今後、豊かな自然をはじめとした地域資源を活かして、人々を青梅市へ呼び寄せるような取り組みを進めてもらいたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により世の中が変わってきているので、今までのやり方を踏襲するのではなく、何か求められているのかを適切に捉えていくことが行財政改革の原点だと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会の開催回数が少なかったので、集中した議論ができなかったが、様々な課題に対して解決する材料になったと感じている。
- ・行財政改革推進委員会には、「改革」が含まれているので、できるだけ現実的に議論し、それが市政に反映されたということが見える形になるとありがたい。新型コロナウイルス感染症の件でもそうだが、様々な数値が出てくるのが遅いのと、その情報の正確性について、改善する必要がある。

イ 今期委員の任期満了に対し、浜中市長より御礼あいさつ

以 上